

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公表番号】特表2000-507775(P2000-507775A)

【公表日】平成12年6月20日(2000.6.20)

【出願番号】特願平9-535266

【国際特許分類第7版】

H O 4 M 3/42

H O 4 M 3/00

H O 4 M 11/00

【F I】

H O 4 M 3/42 F

H O 4 M 3/00 B

H O 4 M 11/00 3 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月26日(2004.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年2月26日 

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第535266号

2. 補正をする者

住 所 アメリカ合衆国, 10013-2412 ニューヨーク, /
ニュー YORK, アヴェニュー オブ ジ アメリカズ 32 /

名 称 エイ・ティ・アンド・ティ・コーポレーション /

3. 代 理 人

〒100-0005

住 所 東京都千代田区丸の内3-2-3. 富士ビル602号室
電話 (3213) 1561 (代表)

氏 名 (6444) 弁理士 岡 部 正 夫

力 式
審 査

4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容 別紙のとおり



(1)「請求の範囲」を別紙の通り訂正する。

請 求 の 範 囲

1. 電話回線上での被呼出し側のパーティの端末とデジタル・パケット交換網に対するアクセス・プロバイダーとの間で呼出しが進行中の間に、その被呼出し側のパーティの電話回線に対して呼出し側のパーティから公衆電話網上で入って来る呼出しを接続する方法であって、該方法が、

前記電話網の前記呼出し側のパーティからの前記入って来る呼出しを受信するステップ、

前記被呼出し側のパーティに対して入って来ている呼出しがあることを前記アクセス・プロバイダーに対して知らせるステップ、

前記端末と前記アクセス・プロバイダーとの間の呼出しで、前記被呼出し側のパーティに対して前記入って来ている呼出しが電話網上に存在していることを知らせるステップ、

前記入って来ている電話呼出しを受け付けるために前記端末からの信号を受信するステップ、

前記端末と前記アクセス・プロバイダーとの間の前記呼出しをホールド状態に置くステップ、

前記電話回線上で前記入って来た呼出しを接続するステップを含む方法。

2. 請求項 1 に記載の方法において、前記入って来た呼出しが終了したときに、前記アクセス・プロバイダーに対して前記被呼出し側のパーティの前記端末の接続を元に戻すステップをさらに含む方法。
3. 請求項 2 に記載の方法において、前記端末と前記アクセス・プ

ロバイダーとの間の前記呼出しをホールド状態に置く前記ステップが、前記呼出しがホールド状態に置かれるときに前記被呼出し側のパーティが接続されている場所を保持するステップを含む方法。

4. 請求項3に記載の方法において、前記被呼出し側のパーティがアクセス・プロバイダーへ戻って接続されるときに、保持されていた場所において前記端末と前記アクセス・プロバイダーとの間の呼出しが再開するようになっている方法。
5. 請求項1に記載の方法において、前記入って来た呼出しが存在していることを前記端末に知らせる前記ステップが、前記呼出し側のパーティのアイデンティティを提供するステップを含む方法。
6. 請求項5に記載の方法において、前記呼出し側のパーティの前記アイデンティティが前記呼出し側のパーティの自動番号識別情報を含む方法。
7. 請求項5に記載の方法において、前記呼出し側のパーティの前記アイデンティティが前記呼出し側のパーティの名前を含む方法。
8. インターネットに接続されているインターネット・アクセス・プロバイダー（IAP）に対する公衆電話網上での呼出し状態にある電話回線上の端末において呼出し側のパーティが接続されている間に、前記呼出し側のパーティと前記公衆電話网上的前記被呼出し側のパーティとの間の接続を確立する方法であって、該方法が、

前記電話網において前記呼出し側のパーティから前記被呼出

し側のパーティに対して入って来る呼出しを受信するステップ、

前記被呼出し側に呼出しが入って来ていることを、前記 I A P に知らせるステップ、

前記電話網の中に前記被呼出し側のパーティに対して入って来た呼出しが存在していることを、前記 I A P と前記端末との間で通話中の前記端末に知らせるステップ、

前記入って来た呼出しを受け付けるための信号を前記端末から受信するステップ、

I A P に対する呼出しをホールド状態に置くステップ、

前記電話回線上で被呼出しパーティに対する入って来た呼出しを接続するステップとを含む方法。

9. 請求項 8 に記載の方法において、入って来た呼出しが終了したときに、前記端末の接続を前記 I A P 側に戻すステップをさらに含む方法。
10. 請求項 9 に記載の方法において、前記 I A P に対する呼出しを電話回線上に置くステップが、前記 I A P に対する呼出しがホールド状態にされるときに前記被呼出し側のパーティが接続されている場所／URL アドレスを保持するステップを含む方法。
11. 請求項 10 に記載の方法において、前記端末の接続を I A P へ戻すときに、前記呼出しが保持されていた場所／URL アドレスにおいて再開するようになっている方法。
12. 請求項 8 に記載の方法において、入って来た呼出しが存在していることを前記端末に知らせるステップが、前記呼出し側のパーティのアイデンティティを提供するステップを含む方法。
13. 請求項 12 に記載の方法において、前記呼出し側のパーティの

前記アイデンティティが前記呼出し側のパーティの前記自動番号識別情報を含む方法。

14. 請求項 1 2 に記載の方法において、前記呼出し側のパーティの前記アイデンティティが前記呼出し側のパーティの名前を含む方法。

15. 公衆電話網上で被呼出し側のパーティに対して入って来ている呼出し側のパーティからの電話呼出しを接続する方法であって、
前記公衆電話網において入って来る電話の呼出しを受信するステップ、

前記被呼出し側のパーティがデジタル・パケット交換網に接続されているサービス・プロバイダーと通話中であった場合に、前記入って来た電話の呼出しが受信されていることを判定するステップ、

前記被呼出し側のパーティが前記サービス・プロバイダーとの通話中に、前記被呼出し側のパーティに電話の呼出しが入っていることを前記サービス・プロバイダーに知らせるステップ、

前記公衆電話網において入って来た呼出しが存在していることを前記サービス・プロバイダーと通話中の被呼出しパーティに知らせるステップ、

前記入って来た呼出しを受け付けるための信号を受信するステップ、

前記サービス・プロバイダーとの通話をホールド状態に置くステップ、

前記入って来た呼出しを前記被呼出し側のパーティに接続するステップを含む方法。

16. 請求項 15 に記載の方法において、前記入って来た呼出しが終了したときに前記被呼出し側のパーティの接続を前記アクセス・プロバイダーに戻すステップをさらに含む方法。
17. 請求項 16 に記載の方法において、前記サービス・プロバイダーとの前記通話をホールド状態に置くステップが、前記サービス・プロバイダーとの呼出しがホールド状態に置かれるときに、前記被呼出し側のパーティが接続されている場所を保持するステップを含む方法。
18. 請求項 17 に記載の方法において、前記アクセス・プロバイダーに対する前記呼出しが、前記保持された場所において再開するようになっている方法。
19. 請求項 15 に記載の方法において、入って来た呼出しが存在していることを前記被呼出し側のパーティに知らせるステップが、前記呼出し側のパーティの前記アイデンティティを提供するステップを含む方法。
20. 請求項 19 に記載の方法において、前記呼出し側のパーティの前記アイデンティティが、前記呼出し側のパーティの自動番号識別情報を含む方法。
21. 請求項 19 に記載の方法において、前記呼出し側のパーティの前記アイデンティティが、前記呼出し側のパーティの名前を含む方法。